

**会報**  
**国鉄闘争全国運動**  
 国鉄分割・民営化反対！ 1047名解雇撤回！

54号  
 2014年11月17日

国鉄分割・民営化に反対し 1047名解雇撤回闘争を支援する全国運動事務局  
 千葉市中央区要町2-8 DCC会館内  
 TEL 043-2222-7207  
 nationwidemovement@yahoo.co.jp

# 11・2労働者集会に5700人 10万署名で安倍倒せ



11・2集会は5700人の結集で大成功しました。「7・1閣議決定」という労働運動の分岐点に際し、「ここから反転攻勢に打って出る」という力がみなぎった集会でした。本号ではいくつかの集会発言を掲載します。年内最高裁判決を許さず、10万筆署名を集めきり、戦争と民営化の安倍を倒しましょう！（事務局）

## 官民連帯の地域共闘を軸に

全国金属機械労働組合港合同委員長 中村吉政

11月労働者集会の原点は国鉄1047名解雇撤回闘争への反動判決がきっかけでした。国家総ぐるみの不当労働行為が正当化され、「こんなことがまかり通ったら、組合つぶしも首切りもやりたい放題になる」という危機感と怒りが3組合を結びつけ、全国労働者総決起集会として闘われてきたのです。

大阪では、橋下市長による「不当労働行為」「団結権破壊攻撃」と真っ向から闘ってきました。橋下市長が行った職員アンケート調査の不当労働行為は、



港合同は直接雇用関係があるわけではないかもしれません。それじゃ、なぜ闘うのでしょうか。それは、

**解雇撤回・JR復帰を求める最高裁署名  
 7万9217筆（14年11月16日現在）**

橋下の横暴を許したら大阪市内問題だけにとどまらず、すべての労働者に悪影響をもたらすからです。港合同は、公然と団結権を破壊するものとは断固として闘うので、

## 最後まで闘争すれば必ず勝利

全日建連運輸労組近畿地方本部書記長 西山直洋

私たち関西生コン支部は先々週、50周年の定期大会を迎えました。大阪では多くの労働組合を結集する産別交流をスタートさせました。生コン業界のみならず医療の業界、清掃業界、そういう仲間たちで、産業を労働組合の共闘でくくり上げ、闘い、そして労働者の権利をかちとる。そのようなシステムを地域から全国へ広めていこうとしております。

**訪韓団が11・9労働者大会に参加**  
 動労千葉訪韓団は11月9日、民主労総が呼び掛ける「44周年チャントイル烈士精神継承！ 2014全国労働者大会」に参加しました。この日に集まった労働者は3万人を超え、「非正規職撤廃」「パククネ退陣」を掲げ、韓国都心の実力デモが闘われました。民営化・非正規職化に対する怒りが韓国全土に燃え広がっています。パククネ政権が鉄道や医療の民営化を推進し、国民の安全と健康を破壊して財閥の金儲けの手段にしようとしていることに、非正規の20万組合員が全労働者の新たな希望となり、世界をかけることが出来ることを確信している」とす。（事務局）

わなければならないと考えます。労働組合で職場の経済要求で闘い、政治闘争をするのが私たちの役割です。労働者、そして全国の民衆、その望み通りの運動をいままさに、私たちの団結

## 反転攻勢の時力を取り戻そう

動労千葉委員長 田中康宏

私たちは国鉄分割・民営化に反対し、30年間闘い続けてきました。今日、ここに集まったこの力は、怒りと結びつくことで無限の可能性をもって団結を広め闘う労働組合を甦らせる力です。私たちは何があるとして1047名解雇撤回に向けて闘い続けます。この年末にも、最高裁判決が下ろされるであろう。しかし、どんなことがあっても、3番目です。絶対に戦争への道を止めましょう。この国の政府は労働者の未来を破壊し、権利を破壊し、団結を破壊し、社会保障、年金、医療、教育、すべてを破壊し、それに飽き足らず、憲法を破壊し戦争に向かって進もうとしております。戦争はどんなことがあっても止めなければなりません。それは私たち平和を求める労働者の特別な任務です。そしてそのすべてを成し遂げるために、闘う労働組合が必要です。30年間、ほくらは後退し続けました。でも反転攻勢の時です。安倍政権を打倒し、力を取り戻しましょう。

翌10日には、民主労総ソウル本部との日韓理念交流を行い、鉄道労組や自治体労働者などとの交流を深めました。階級的労働運動の再生をかけた日韓国際連帯闘争の新たな段階が切り開かれております。（事務局）



# 来年は全国運動の飛躍の年

国鉄闘争全国運動呼びかけ人 伊藤晃

全国運動の発足から5年目に入っております。国鉄闘争は終わっていないのだという私たちの呼びかけが、今、新自由主義の下で民営化、非正規化、外注化、賃下げに苦しむ全労働者の共感を呼び起こしつつあると思います。

27年前の分割・民営化の時の苦しい経験、国鉄労働者の苦しい経験、その後、それに屈せず1047名闘争が切り開いたその高さというものが今、今日の労働者に甦ってきていると、私は考えます。

これから私たち全国運動の課題は、この署名運動がつくり出した全国の無数の運動の目というものをつなぎ合わせて、育てていくことであろうと思っております。

今、安倍内閣は集団的自衛権であるとか秘密保護法であるとか、

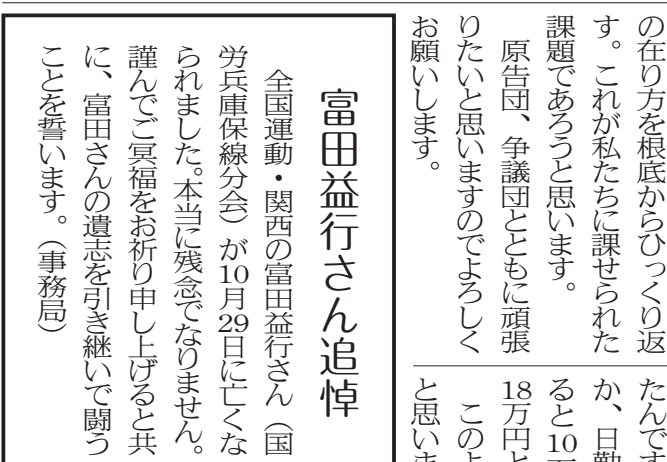
## 最高裁で解雇撤回を

動労千葉争議団 中村仁

か、そういう法がいつばいある。それを阻止する最大の力は、労働者の結集した力にあります。もに頑張ります。

解雇撤回をかちとる闘いを貫徹して、絶対に勝利していきたいと思っております。

たのも一つの理由です。たまたま電車の中で掃除をしていますと、皆さんがおおやけには言わないですけど、そういう狭い空間の中でポロッと言った状況が見受けられます。



## 富田益行さん追悼

全国運動・関西の富田益行さん(国労兵庫保線分会)が10月29日に亡くなりました。



## セウオル号惨事は虐殺だった

民主労総ソウル本部副部長 イヒョンチョル

セウオル惨事は単純な事故ではなく、虐殺でした。資本の貪欲が生んだ人災でしたが、しかしただの1人も救出できなかった無能な大統領は責任を負っていません。

特別法制定のために路上で闘い続けています。昨日はセウオル号惨事から2000日の日でした。

この3年間は、UTLAにあって本当に厳しい時期でした。組合が苦境に陥っていたことは、私にはよくわかります。

## 組合員の誇りを取り戻した

ロサンゼルス統一教組副委員長 セシリー・マイアトクルス

も海の中から出てこない9名の遺家族たちを守るために一緒にやっています。安全が保障される国のために

任し4カ月がたち、組合員は、労働組合への疎外感、団体交渉、組合内外の活動や政治活動の力となる団体行動への距離感から離脱しつつあります。



「国家大改革をする、真相を究明する、責任者を処罰する」と言った大統領の約束も守られていません。

この7月1日に執行部に就任した。今年7月1日に執行部に就任した。今年7月1日に執行部に就任した。

たにも一つの理由です。たまたま電車の中で掃除をしていますと、皆さんがおおやけには言わないんですけど、そういう狭い空間の中でポロッと言った状況が見受けられます。